

電線・ケーブルの耐熱温度に関して

電線・ケーブルの耐熱温度は、構成材料により決められており、次のとおりとなります。

品 種	絶縁体		シース	
	構成材料	耐熱温度 (°C)	構成材料	耐熱温度 (°C)
I V	ビニル	6 0	—	—
H I V	耐熱ビニル	7 5	—	—
V V F, V V R	ビニル	6 0	ビニル	6 0
6 0 0 V C V, C V T	架橋ポリエチレン	9 0	ビニル	6 0
6 6 0 0 V C V, C V T	架橋ポリエチレン	9 0	ビニル	6 0
C V V	ビニル	6 0	ビニル	6 0
V C T F, V C T	ビニル	6 0	ビニル	6 0
F C P E V	ポリエチレン	7 5	ビニル	6 0
H P	架橋ポリエチレン	9 0	ビニル	6 0
A E	ポリエチレン	7 5	ビニル	6 0

注1) 一般的に電線・ケーブルの許容電流は、周囲温度40°Cで計算しています。周囲温度が高いと熱放散が悪くなるため、品種によっては大幅に許容電流が低下します。

許容電流の低下を考慮し、周囲温度50°C以下での使用をお勧めします。

注2) 消防用の配線は、HP（耐熱電線）であれば火災発生時に15分で380°Cに達するまで通電できますが、通常時の耐熱温度は上表の通り、シースの耐熱温度に制限されます。